



丸森町

丸森町DX推進計画

デジタルで時間を創り、人を支える丸森のDX

計画期間：令和8年度～令和10年度

目次

主旨・計画の位置づけ・計画期間	2
ビジョン(将来像)	3
計画を推進するための4つの基本方針	4
推進体制	5
主要施策	6
主要施策工程表	10
KPI (重要業績評価指標)	11
策定経過	12
策定名簿	13
用語解説	14

主旨

丸森町では、直面する人口減少、少子高齢化等の多様な課題に対して、デジタル技術を活用し、「行政サービスの質の向上」と「業務の効率化」を推進します。関係する法律(デジタル社会形成基本法、デジタル手続法等)等を考慮しながら、総務省の「自治体DX推進計画」を参考に、「丸森町DX推進計画」を策定して、一丸となってデジタル化に取り組みます。

(参考) [総務省:自治体DXの推進](#)



計画の位置づけ

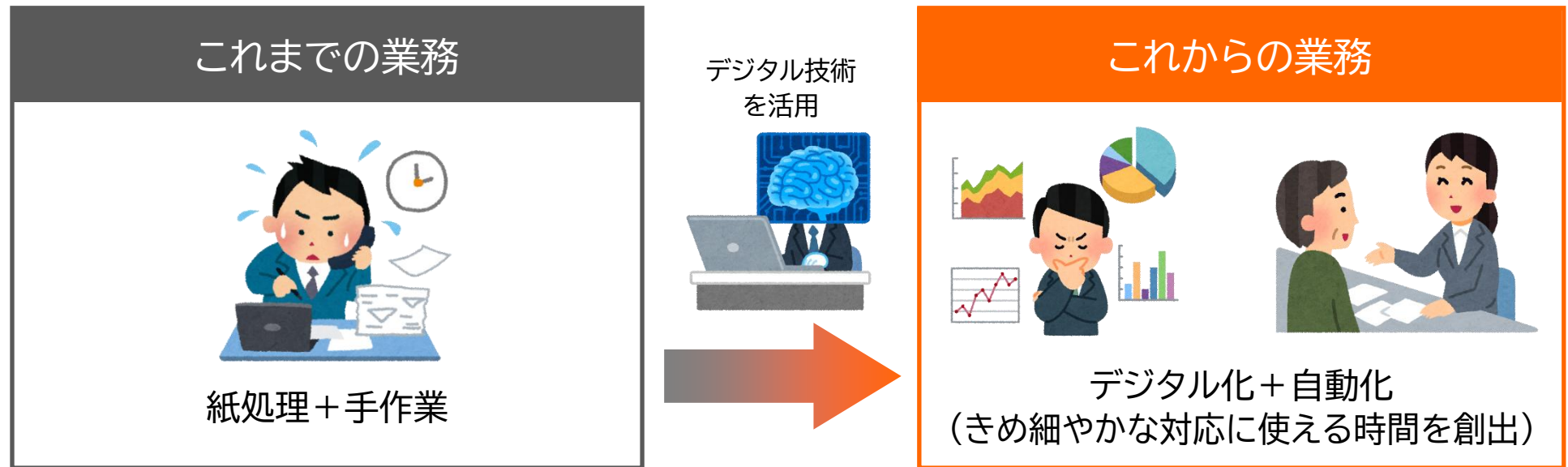
本計画は、「第六次丸森町総合計画」及び「第3期丸森町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の実施計画として位置づけるとともに、丸森町が取り組みを進めるデジタル化の方向性を示すものです。

計画期間

令和8年度 ~ 令和10年度 ※社会情勢や国の動向などの変化に応じて、適宜見直し

ビジョン（将来像）

デジタルで時間を創り、人を支える丸森のDX



- ・住民に寄り添った行政サービスを提供し続けられるよう、積極的にデジタル技術を活用する
- ・業務を省力化することで、政策の企画立案等の創意工夫を要する業務や相談業務等、きめ細やかな対応に職員が注力できる時間を創出する

計画を推進するための4つの基本方針

職員の働き方改革

住民の生活を豊かにするために、
まずは職員の働き方を見直す

持続可能性

持続可能な形で行政サービスを提供する
ために、デジタル技術を活用する

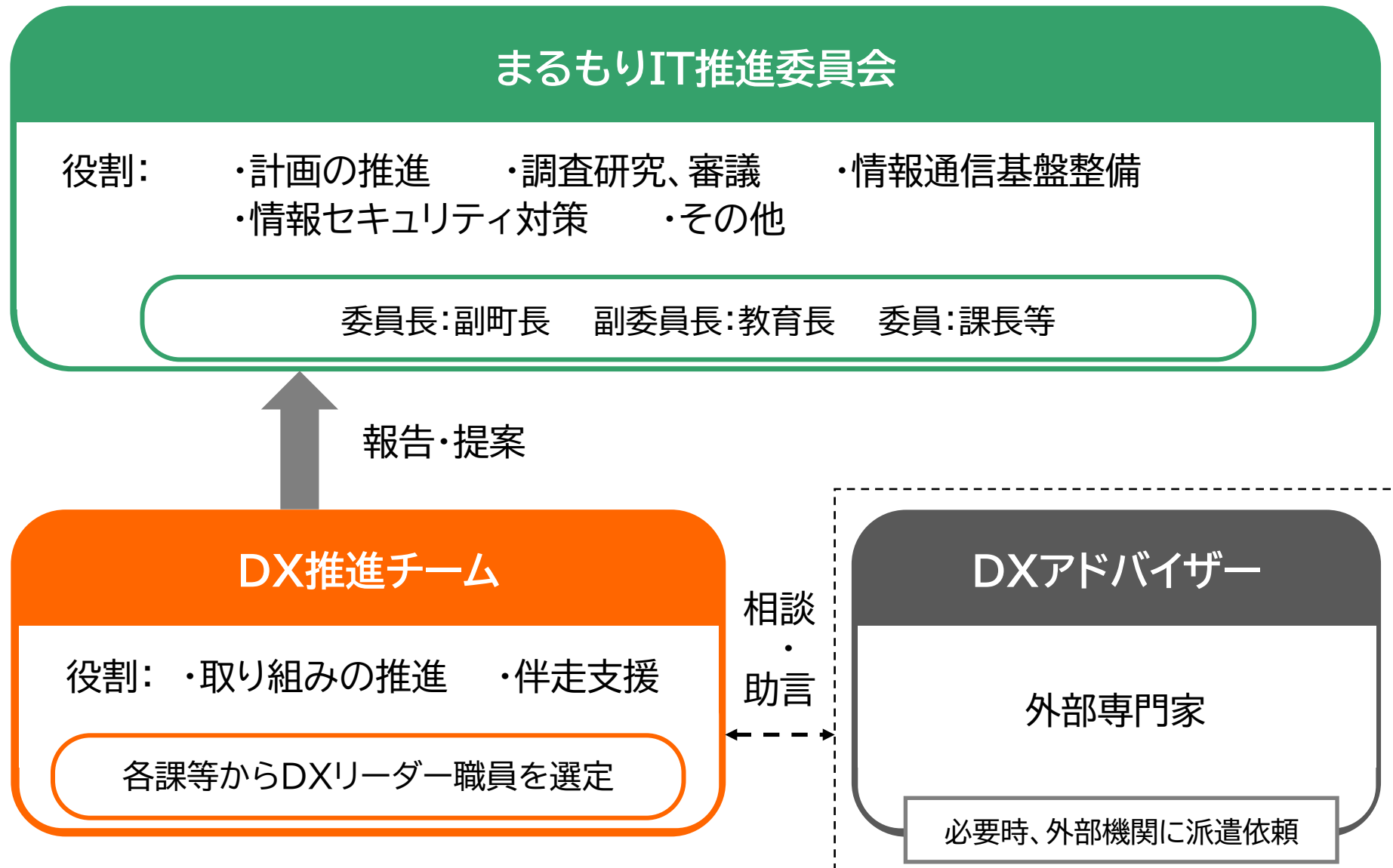
スピードと改善

住民に寄り添った行政サービスを提供するた
めに、スピーディに実行し、改善を繰り返す

誰一人取り残さない

デジタルデバイドの解消とともに、
デジタルを使わない選択肢を残す

推進体制



主要施策 1 BPRの推進

目指す姿: 手続き全体が最適化し、業務が効率化されている

- 取り組み:
- ①業務プロセスの分析 ➤ 手続きの流れを分析
 - ②DXアドバイザーの活用 ➤ 最適化に向けたアドバイス
 - ③業務の最適化に着手 ➤ 手続きを最適化
 - ④「アナログ規制」の撤廃 ➤ デジタル化を阻害する手法の見直し

主要施策 2 行政手続きのオンライン化

目指す姿: 原則、全ての手続きがオンラインでもできるようになっている
(各課の窓口を閉めるのではなく、オンライン手続きを拡充する)

- 取り組み:
- ①対象手続きの選定 ➤ オンライン化すべき手続きの選定
 - ②ぴったりサービスの試験導入 ➤ マイナンバーカードを活用したオンライン手続きの導入
 - ③本人確認手続きの導入 ➤ オンラインで本人確認する行政手続きの拡充
 - ④オンライン決済の導入 ➤ オンライン決済を導入し、行政手続きを拡充
 - ⑤原則、全手続きのオンライン化 ➤ オンライン化できる行政手続きを拡充

主要施策 5 デジタルデバイドの解消支援

目指す姿: スマホやタブレット等を持っている方が、町公式LINEに登録し、町が発信する情報を受け取れるようになっている

取り組み: ①スマホ教室の開催 ➤希望者向けに操作研修・相談会を開催
②公式LINEの登録支援 ➤町公式LINEの登録支援

主要施策 6 地域社会のデジタル化支援

目指す姿: 住民や事業者のデジタル化に関する困りごとに対応できる体制が整っている

取り組み: ①支援方法の検討 ➤住民や事業者に対する支援の方法を検討
②住民、事業者等を支援 ➤相談者の求めに応じ、支援

主要施策 7 地域ポイントの活用推進

目指す姿: 地域ポイントが積極的に発行・運用されている

- 取り組み:
- ①ポイント発行事業の検討 ▶住民対象の事業に関して、発行を検討
 - ②ポイント利用事業者の拡充 ▶ポイントを利用できる事業者の拡充に向け、事業者を支援
 - ③ポイント発行事業の拡充 ▶住民対象の事業において、ポイントを発行

主要施策 8 業務効率化、住民サービス向上のためのシステム導入

目指す姿: DXの観点から、業務効率化や住民サービス向上につながるシステムが導入されている

- 取り組み:
- ①AI利用ガイドラインの整備 ▶生成AIの利用推進・注意点をまとめたガイドラインを策定
 - ②行政事務の効率化につながるシステムの導入 ▶随時、検証のうえシステムを導入
 - ③住民サービス向上につながるシステムの導入 ▶随時、検証のうえシステムを導入

主要施策工程表

取組事項	令和8年度	令和9年度	令和10年度	目標時期
BPRの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・業務プロセスの分析 ・DX アドバイザーの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の最適化に着手 ・「アナログ規制」の撤廃 		令和9年度
行政手続きのオンライン化	<ul style="list-style-type: none"> ・対象手続きの選定 ・ぴったりサービスの試験導入 	<ul style="list-style-type: none"> ・本人確認等手続きの導入 ・オンライン決済の導入 	<ul style="list-style-type: none"> ・原則、全手続きのオンライン化 	令和10年度
キャッシュレス決済の導入	<ul style="list-style-type: none"> ・検証、導入準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・運用開始 		令和9年度
ペーパーレス化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・会議システムの導入 ・端末の検証、導入準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・庁舎内環境の整備 ・端末の導入 		令和9年度
デジタルデバイドの解消支援	<ul style="list-style-type: none"> ・スマホ教室の開催 ・公式LINEの登録支援 			令和8年度
地域社会のデジタル化支援	<ul style="list-style-type: none"> ・支援方法の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民、事業者等を支援 		令和9年度
地域ポイントの活用推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ポイント発行事業の検討 ・ポイント利用事業者の拡充 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポイント発行事業の拡充 		令和9年度
業務効率化、住民サービス向上のためのシステム導入	<ul style="list-style-type: none"> ・AI利用ガイドラインの策定 ・システムの導入(随時) 			-

KPI（重要業績評価指標）

※「第六次丸森町総合計画」、「第3期丸森町まち・ひと・しごと創生総合戦略」で設定したKPIの再掲

指標名	令和5年度 (実績値)	令和10年度 (目標値)	目標指標の測定あるいは 取得の方法	指標設定計画
計画事業の達成率	—	100%	実施した施策数／計画した施策数	第六次丸森町 総合計画
スマホ教室の参加者数	57人	75人	参加者数	
庁内会議のペーパーレス化の割合	—	70%	ペーパーレスで行った庁内会議の数 ／庁内会議の数	
公式LINE登録者数	—	4,500人	丸森町公式LINEアカウントの登録者数	第3期丸森町 まち・ひと・しごと 創生総合戦略
行政手続きのオンライン化率	10%未満	50%	オンライン化した行政手続き数 ／本町の行政手続き数	

策定経過

月 日	実施項目	概 要
令和7年		
6月30日	令和7年度第1回まるもりIT推進委員会	(仮称)丸森町DX推進計画の策定について
8月7日	丸森町DXマインド醸成研修	テーマ:小さく大きな一歩を踏み出すためのDXマインド醸成について
//	第1回丸森町DX推進計画策定部会	DXの方向性、スケジュール、策定の方針の検討
9月4日	第2回丸森町DX推進計画策定部会	策定の方針、ビジョンの検討
9月25日	第3回丸森町DX推進計画策定部会	ビジョン、計画の構成方針の検討
10月14日	第4回丸森町DX推進計画策定部会	主要施策の検討
11月5日	第5回丸森町DX推進計画策定部会	主要施策、基本的な考え方の検討
12月19日	令和7年度第2回まるもりIT推進委員会	丸森町DX推進計画(中間案)について
令和8年		
1月8日	令和7年度第3回まるもりIT推進委員会	丸森町DX推進計画(中間案)について
1月23日～2月6日	パブリックコメントの実施	中間案に係る意見募集
2月13日	第6回丸森町DX推進計画策定部会	丸森町DX推進計画(案)について
2月24日	丸森町議会(議員全員協議会)	丸森町DX推進計画(案)について

策定名簿

1 まるもりIT推進委員会

番号	所属課	役職	氏名
1	委員長	副町長	佐々木 秀之
2	副委員長	教育長	佐藤 純子
3	委員	総務課長	大内 一郎
4	委員	企画財政課長	引地 誠
5	委員	町民税務課長	齋藤 直美
6	委員	保健福祉課長	大内 重幸
7	委員	子育て定住推進課長	横塚 千恵
8	委員	会計室長	佐藤 利治
9	委員	農林課長	八巻 義和
10	委員	商工観光課長	坂元 広嗣
11	委員	建設課長	谷津 孝弘
12	委員	学校教育課長	佐藤 育美
13	委員	生涯学習課長	引地 由美子
14	委員	丸森病院事務長	佐藤 徳和
15	事務局	総務課参事兼課長補佐	加藤 利博
16	事務局	総務課情報広報班長	横山 達

2 丸森町DX推進計画策定部会

所属チーム	所属課	氏名
内部・窓口DX	総務課	阿部 幹也 ○
	町民税務課	大古田 陽平
	保健福祉課	加藤 遼
	子育て定住推進課	山田 陽宏
	商工観光課	梅津 秀一
	建設課	天野 裕一郎
地域DX	学校教育課	今野 祐太 ○
	企画財政課	穴戸 望
	農林課	菅野 寛

○リーダー

3 アドバイザー

「宮城県 令和7年度市町村DX推進支援事業」

アドバイザー:吉田 夏樹

事務局:サーキュレーション・七十七リサーチ&コンサルティング共同事業体
宮城県 企画部 デジタルみやぎ推進課

用語解説

● アナログ規制

アナログ的な手法(人の目による確認、現地・対面での講習への参加、公的証明書等の書面での掲示等)を前提としているルール(規制)のこと。

エーアイ

● AI

Artificial Intelligence(人工知能)の略称。人間の知的行動(学習、推論、判断、言語理解等)をコンピュータが模倣する技術のこと。

● オンライン化

これまで物理的・アナログに行っていた業務やサービスを、パソコンやスマホからインターネット技術を活用して完結させること。

● キャッシュレス決済

現金を使わずに、クレジットカード、電子マネー、スマホなどを使って代金を支払う方法のこと。

● 地域ポイント

自治体が、住民の地域活動参加や地域内経済循環などを促すために導入するポイント制度のこと。

(例:みやぎポイント、まるもり地域ポイント)

ディーエックス

● DX

Digital Transformation(デジタル・トランスフォーメーション)の略称。情報やデジタル技術の浸透が人々の生活をあらゆる面で良い方向に変化させること。

● デジタルデバイド

情報通信技術(特にインターネット)の恩恵を受けることのできる人とできない人の間に生じる経済格差を指し、通常「情報格差」と訳される。

ビーピーアール

● BPR

Business Process Re-engineering(ビジネスプロセス・リエンジニアリング)の略称。仕事の進め方、組織構造、システムなどを抜本的に見直し、再構築する手法のこと。

● ぴったりサービス

マイナンバーカードを使って、子育てや介護、引っ越し等の行政手続きをオンラインで検索・申請できるサービスのこと。

● ペーパーレス

紙媒体の文書や資料を電子データに移行し、印刷せずに活用・管理することで、効率化やコスト削減を目指す取り組みのこと。

● マイナンバーカード

行政において特定の個人を識別する番号(マイナンバー)が書き込まれた、個人に交付されるカードのこと。

ライン

● LINE

スマホやタブレット、パソコン等で利用できるコミュニケーションアプリのこと。